

玄米の品質向上のため「適期収穫」について講習を行いました。

8月20・21日にJA佐久浅間管内の全4ブロックで粳摺調製技術者講習会が開催されました。佐久農業農村支援センターでは作物担当者から「適期収穫」について講習を行いました。

適期収穫のポイントは、①積算温度の情報と②帯緑色粳歩合です。積算温度は出穂後の日平均気温を足して算出するもので、具体的には、佐久地域でコシヒカリが1,025℃であきたこまちが1,000℃になります。帯緑色粳歩合は1本の穂に青い粳がどのくらいの割合で残っているかというもので、約10%青い粳が残る状態が刈り取り始め、約2%が刈り取り晩限の目安になります。これを超えると刈遅れとなり、胴割れが起こり始めます。

佐久農業農村支援センターホームページでも佐久地域の収穫適期予測を情報提供していますので参考にしてください。



講習会の様子